

新年のご挨拶



玩具人形健康保険組合
理事長 山縣 常浩

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、すこやかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、当健康保険組合の事業運営につきまして、日頃より多大なるご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年10月より消費税率が引き上げられ、日常生活への影響を少なからず感じていらっしゃるかと拝察いたします。この引上げにより、高齢者に手厚い構造となっていた社会保障制度は、現役世代はもちろん、未来を担う将来世代をも支えるための全世代型社会保障へ転換していくことが期待されています。

団塊の世代が75歳に到達し始める令和4年（2022年）は、高齢者医療のための拠出金が急増し、医療保険全体の財政悪化が急速に進む「2022年危機」の到来が確実視されています。わずか2年後、健康保険組合は今まで以上の困難を強いられることが予想されます。

政府は本年6月を目途に、医療保険制度などの給付と負担の見直しを含む改革に向けた重点政策を「骨太方針2020」として取りまとめる方針です。健康保険組合としましては、一刻も早い高齢者医療費の負担構造改革を求めるところであります。

このような状況ではありますが、当健康保険組合としましては、特定健診・保健指導等の疾病予防事業はもちろんのこと、健康づくりをサポートする保健事業を展開し、みなさまの健康寿命の延伸に向け、一層努力してまいります。

本年は、当健康保険組合は設立50周年となる節目を迎えるほか、東京2020オリンピック・パラリンピックが行われる全国民にとっても記念すべき年です。世界に名だたるアスリートたちが、人々を感動させるパフォーマンスを發揮できるのも、心身の健康があってこそです。みなさまにおかれましても、それぞれの舞台で実力を發揮できるよう、日頃からご自身とご家族の健康状態にご留意いただきますようお願い申し上げます。

結びに、この一年がみなさまにとって実り多き年となることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。